

会 議 録	
会議の名称	平成30年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成30年5月21日（月） 午前10時から午前11時45分
開催場所	清須市役所北館2階 第1・第2会議室
議題	1 開会 2 議事 [報告事項] (1) コミュニティバスの運行・利用状況について (2) コミュニティバス利用者・非利用者アンケートの調査結果について (3) 地域公共交通網形成計画の達成状況等について [協議事項] (1) コミュニティバスのルート・ダイヤ改正（案）について (2) 清須市地域公共交通網形成計画に係る一部改正（案）について (3) 平成31年度生活交通確保維持改善計画（案）について (4) 平成30年度清須市地域公共交通会議スケジュール（案）について 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 [会議資料] 資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料2 コミュニティバス利用者・非利用者アンケートの調査結果 資料3 清須市地域公共交通網形成計画の達成状況等 資料4 全体ルート図（案） 資料5 ダイヤ表（案） 資料6 清須市地域公共交通網形成計画一部改正（案） 資料7 平成31年度清須市生活交通確保維持改善計画（案） 資料8 平成30年度清須市地域公共交通会議スケジュール（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	4人
出席委員	前田委員、山田委員、谷野委員、林委員、後藤委員、石原委員、加藤（榮）委員、宮崎（澄）委員、加藤（博）委員、二輪委員、榊原委員（代理）、松本委員、堀野委員、多田委員、古田委員（代理）、大島委員、蝦名委員、

	宮崎（稔）委員、長谷川委員
欠席委員	なし
出席者（市）	なし
事務局	（企画政策課） 河口次長兼課長、藏城課長補佐、服部課長補佐兼係長、 赤羽副主幹、山田主任、笹野主事
会議録署名委員	谷野委員、林委員
<p>1 開会</p> <p>●事務局 定刻となりましたので、ただ今から、平成30年度第1回清須市地域公共交通会議を開会いたします。 私は、本日の司会を務めさせていただきます、企画政策課の赤羽と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。前田会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>●前田会長 各委員のみなさま、おはようございます。 本日は、大変お忙しい中、本年度最初の清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、大変ありがとうございます。 また、日頃は、皆様方には本事業の運営等にあたりましてご理解とご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。改めて、お礼を申し上げます。 さて、本日は10月1日からの実施予定としておりますルート・ダイヤ改正に向けて、ご報告、ご協議と多々ございますが、委員の皆様方のご協力をいただきまして進めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。 簡単ではございますけれども、あいさつに代えさせていただきます。</p> <p>●事務局 ありがとうございました。 それでは、ここで人事異動等により今年度から当会議にご参画いただく5名の委員の方をご紹介します。 まずお一人目ですが、第3号委員で国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸専門官企画調整担当の二輪昭宏（にわあきひろ）委員です。</p> <p>●二輪委員 こんにちは。ただいま紹介にあがりまして、中部運輸局愛知運輸支局の二輪です。 特にバスの業界、バスに限らず運行業界は、昨今の困難な雰囲気にございまして、皆様も色々抱えていると思いますが、非常に人材不足と言われる状況に苦しんでおります。 どこの会社も少ない利益の中で、可能な限り地域の公共交通に貢献す</p>	

るように努力をしておりますので、皆様方も是非、それも含めて、色々な工夫をしたりというのを検討していただければと思います。

特に、無理なダイヤなどで運転手さんに負担が重なりますと、万が一事故が起きてしまえば、公共交通として信頼を失ってしまうようなこともありますので、是非そういうものも含めてご検討いただくようによりしくお願いします。

●事務局

ありがとうございました。

お二人目ですが、第4号委員で愛知県振興部交通対策課主幹の榊原仁（さかきばらひとし）委員です。

●榊原委員代理

おはようございます。愛知県振興部交通対策課です。本日は代理ということで私児玉が出席させていただきます。

今回清須市での公共交通会議ということで、清須市さんのコミュバスについて議論させていただくんですけども、県の立場ということで、他の市をまたいで広域的に何かご協力させていただくことがあればと思ってお出させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

●事務局

続きまして、三人目は、同じく第4号委員で、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の松本幸次（まつもとこうじ）委員です。

●松本委員

尾張建設事務所維持管理課長の松本と申します。

私のいる部署は、県内の県道とか、河川とか、そういう県管理施設の維持管理ということで、清須市さんのほうとも何かご協力できることがあれば対応させていただきますので、よろしくお願ひします。

●事務局

続きまして、四人目は、第5号委員でつばめ自動車株式会社バス事業部係長の大島竜生（おおしまたつお）委員です。

●大島委員

こんにちは。つばめ自動車株式会社の大島と申します。

これまでも安全運転に努めてまいりましたが、これからも安全運転に努めまして、引き続き、あしがるバスの運行をしていこうと思っております。よろしくお願いいたします。

●事務局

五人目は、第6号委員で清須市建設部都市計画課長の長谷川久高（はせがわひさたか）委員です。

●長谷川委員

おはようございます。都市計画課長の長谷川でございます。

清須市といたしましても、都市計画道路の事業、愛知県さんと一緒にやっている事業が数多くございます。

その道路ができることによって交通のルートが変わるということもありまして、一日も早い開設に向け努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

●事務局

みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の会議の出席状況について、ご報告いたします。

本日欠席されている委員の方は、おられません。

また、他の公務のために、第4号委員で愛知県交通対策課の榊原委員におかれましては、児玉様に、第5号委員で愛知県バス協会の古田委員におかれましては、栗木様に代理でご出席いただいております。

それでは、これより議事に入らせていただきますが、ここで、事務局からお願いがございます。

当会議の議事録を作成するために、会議でのご発言にあたりましては、次の2点についてご協力をお願いいたします。

まず1点目ですが、ご発言にあたりましては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

続いて2点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいてから、ご発言くださいますよう、お願いいたします。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

## 2 議事

●前田会長

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずはじめに、会議録の署名委員でございますが、指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席の順に谷野委員さんと林委員さんをお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が3件、協議事項が4件となっております。

まずは議事の「報告事項」から順次進めてまいりたいと思っております。

最初に報告事項(1)から(3)までを一括して取り扱うことといたしますので、よろしくお願いいたします。

事務局から、資料につきまして、順次説明をお願いいたします。

〔報告事項(1)、(2)及び(3)について事務局から説明〕

●前田会長

ありがとうございます。

それでは、ただいま事務局から詳細にわたりまして、ご説明がございました。その中で、各委員さんからご意見ご質問等がございましたら、ご発言のほうよろしくお願ひいたします。

●山田委員

山田です。資料1の図4のサクラルート利用者数ですけれども、28年度がどんどん伸びてきたということで、29年度利用者数が減ったと。これは何か原因というのはあるんですか。

サクラルートは一番乗車人員が多い車ですので、こういう傾向が続くということは、何か手を打たなきゃいかんのではないかというふうに思います。

それともう一つ、資料2のあしがるバス利用意向ということで、利用しない人が増えている、その理由としては、30代、40代の人たちではないかということですが、利用していない人が増える、というのはいちよつと疑問に思います。

それと、資料3、サクラルート目標未達成とういうことですが、これは図1の説明の中で分かってくると思うんですけども、少しサクラルートについては、よく考えないと、どんどん利用者数が減るんじゃないかと思います。

●事務局

ありがとうございます。まず資料1と、それから資料3のサクラルートの減少についてなのですが、サクラは、先ほど説明で申し上げましたように、28年度と比べると29年度が減少しているんですけども、それ以前から見ますと、全体としては利用者数自体は増加傾向にあるとは思われます。

ただ、平成28年度のサクラルートの増要因についても分析をしてみたんですけども、全体的に利用者数が大幅に増加しており、特定のバス停で利用者数が増加したというようなデータがとれなかったため、平成28年度が増加した要因については、今のところはっきり分かっておりません。

●山田委員

今の説明につきまして、28年度は増加した、増加した要因が分かっていないということですが、30年度も29年度と同じような傾向で進むとすると、増加要因というのをしっかりと把握しないと維持できなくなるんじゃないかと思いますが、どうでしょう。

●事務局

サクラルートの減少につきましては、先回の公共交通会議の場でも何でだというような話が出ております。事務局としましても、そちらのところ各駅、バス停の乗降の状況ですとか、細かく見てはみたものの、正

直、原因が分からなかったというのが本音のところでは。

以前からこの公共交通会議の場でも、どこかで頭打ちというのは来るのかな、それで今後啓発等で伸ばしていこうというような感じで来ていた中、順調に清須市は右肩上がりで上がってきたところサクラルートに限ってはこういう状況になったということですので、ここらへんが今のところでの頭打ちかなとは思っているんですけども、幸いにも今回今年の10月にルート・ダイヤ改正をして、このサクラルートにつきましても1便あたりの走行時間のほうも、短縮はさせていただいておりますので、こういったところでまた今後利用者の確保ができればというふうに思っておりますので、今後とも注意深くこのところは注視していく必要があるのかなというふうに事務局としては判断しております。以上です。

●前田会長

ありがとうございます。

他に委員さん、何かございましたら。よろしいですか。

●加藤副会長

今のご意見で、本当に解明したいところなんですけど、私も色々考えたんですけど理由が分からない。もちろん利用がそれほど多くないところだと、一人やめると、常連の方がやめるときだとかあるので、ちょっと色々難しいですが。

サクラは、もともと決して利用が多いところではないところを走っているわけで、もともとそれは分かっているところで、本来だったらグリーンとかの利用者の方が多いので、そちらのほうに大きい車を入れたいところなんですけど、道路によって入れられないということになっていて、より広い道路を走っているということでサクラルートですので、必ずしも利用が多い路線なので大きい車を入れたという訳でもないということですね。

10月は、色々見直しをしてもらっていますが、そこを見ていただきながら、本当にそれで良いのかというのは、何回か議論してきてはいますが、再度考えていただくと良いと思います。

それから、ルートとしてはこれで良くて、実際利用促進がどうやってやったらいいかというものを考えてほしいなと思います。

あと、資料2の方は全体的に悪くなっている傾向ですが、これもサンプルがかなり変わっているということが分かっていて、若くなっていると、前回より、というのがあります。

ということで、必ずしも前回と今回で簡単に比較できないということが正直ありまして、非利用者アンケートについては、そうですね。若い方が増えていて、高齢の方も回答しているということなので、どうしても認知度とかだと若い方は利用しないことがあるなということから、年代別にどうなっているかっていうのは集計しなければいけないということで、必ずしも前回今回で同じような人に聞いているわけではないということはちょっと注意しなければいけないと思います。

●前田会長

ありがとうございました。  
他に委員さん何かございませんか。

〔特になし〕

他にご質問が無いようでしたら、これで報告事項の議事を終わります。

続きまして、協議事項（１）コミュニティバスのルート・ダイヤ改正（案）についてを、事務局から説明をお願いします。

〔協議事項（１）について事務局から説明〕

●前田会長

ありがとうございます。  
ただいま事務局から説明がございました。  
各委員さんから何かご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

●加藤副会長

結局ブルールートができて、ヨシヅヤから春日の間が１時間に１本にとっても本数が多くなりまして大変充実するわけですが、一抹の不安もありまして、結局どのくらい乗っていただけるのかなというのがあります。

その辺ってというのは、事務局的にはどういうふうに考えているのですか。どういうふうに呼びかけて行くのかということも教えてほしいし、逆に、ヨシヅヤまで来るけどそこから先は乗り換えなんで、乗り換えということも中々抵抗があるということも言われていますが、毎時何分と言うのは分かる。だけど、乗り換えは中々「乗り換えできますよ」と言っても、認識されないと。

そういうのも含めて、どういうふうに周知していくかというのが大事だと思いますが、一応そういうことが考えられるようにダイヤも組んできたと思うんですけど。どういう風に考えていますか。

●事務局

お答えいたします。先生がおっしゃるように、今回のルート・ダイヤ改正の非常に重要な点の一つであります乗り換えなんですけれども、おっしゃるように、これまでのように「ルートダイヤ改正があります」というふうにだけ言っても、なかなかご理解いただけるような内容ではございません。

ですので、１０月１日のルート・ダイヤ改正に向けまして、その内容の周知を図ると言うことで、具体的には、こういう形で乗り換えができます、この地区の方がここに行くときはこのように乗ってくださいとい

ったところまで、事前にご案内ができる形での周知を考えております。

詳しくは、その他のところでアンケートをお願いする予定でおりますので、そこでご説明をする予定でございましたが、おっしゃるように、乗り換えというものを前面に押し出した周知という方法を考えておりますので、なんとか事務局としてはそれが上手くいくといいなというふうに考えているところでございます。

●前田会長

他に委員さん何かございましたら。

●二輪委員

二輪です。事務的な話になるのですが、今回改正を見させていただきますと、路線なんかも新たに増えたりしまして、行政上の手続きが発生するものもあるのかなと思います。

清須市さんだけではなく、各市町さん10月に向けて色々とルート変更やダイヤ改正を行っておりまして、それに向けて、8月、9月は手続きの件数が多くなる傾向があります。

できるだけ早めの手続きを行っていただくように事業者も含めてお願いします。

●前田会長

ありがとうございます。

他に委員さん何かございましたらお願いいたします。

[特になし]

ご質問も無いようですので、ここでお諮りいたします。  
本件に関しまして、事務局案をご承諾いただくということでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(1)を終わります。

引き続きまして、協議事項(2)(3)を一括して取り扱うことといたします。

では、(2)清須市地域公共交通網形成計画に係る一部改正(案)についてと(3)平成31年度生活交通確保維持改善計画(案)についてを議題といたします。

事務局からそれぞれの議案についての説明をお願いいたします。

[協議事項(2)(3)について事務局から説明]

●前田会長

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がございました。各委員さんからは、(2)(3)議案の順番は問いませんので、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

●山田委員

山田です。資料7の3番ですね。前号の目標を達成するために行う事業及びその実施主体ということで、バス停の新設とか利用促進策等を通してということなのですが、この促進策、今何を考えてこういう書き方をされているかということをお聞きしたいです。

●事務局

お答えいたします。利用促進策といたしましては、これまでもやってきましたけれども、例えば無料デーの実施でございましたり、それからバス乗り方教室、6月に2件予定してございますけれども、そういった従来行ってきたものに加えまして、10月のルート・ダイヤ改正に向けましての周知という意味で、新たに加える予定でいるものもございません。

こちらにつきましては、その他のところでちょっとアンケートをお願いする関係もございますので、そちらの資料に加えてございますが、新たに行うものとして想定しておりますものにつきましては、例えばポスター、それからチラシの作成及び配布でございましたり、広報清須に記事を連載させていただいて、その上での周知ということも考えております。

●前田会長

ありがとうございます。委員さんよろしいですか。

●山田委員

山田です。今、お話聞きましたけども、利用者の実績向上に繋がりますかね。何かずっと今まで同じようなことをやってきているような気がするんですけども、どうなんでしょう。

●事務局

これまで順調に利用者数が伸びてきているところでございましたけれども、先ほど山田委員からご指摘ありましたように、サクラルートについては少し気になる傾向も見えてきてございます。

そのことをご心配されてということだとは思いますが、今後もこれまで利用者が増えてきた傾向を維持する、そしてまた更に伸ばしていく、ということを考えてまして、今度の10月のルート・ダイヤ改正というところで更なる利便性の向上を図っていきたいと思っております。

そのためには、こういった形で利用者の皆様の利便性の向上が今度の10月のルート・ダイヤ改正によって図られるか、というところを、ま

ず知っていただく、というのが基本だと考えております。

そのことをご理解いただくための10月のルート・ダイヤ改正に向けての周知を行うというふうに考えております。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員さん何かよろしいですか。

●事務局

すみません、この後に、その他のところで、今事務局として考えている周知の方法、それからどういったものを考えているか、とった内容を別議題でやろうと思っていたんですけど、先ほど加藤先生から、また山田委員からも周知のほうが今回一番大事だということでご意見をいただきました。ですので、そちらを先に、こちらこう考えているんだというところを今からやっていきたいと思っておりますので、資料を配付しますので、お待ちください。

それをご覧いただいて、皆様のご意見を伺うためのアンケートをお願いしたいと思います。

[その他について事務局から説明]

●前田会長

各委員さん、どうですか。今の事務局からの説明で何かご質問があれば。

●山田委員

山田です。意見ですけども、ルート改正の周知ということで、広報を利用して連載で出すよというお話しなんですけど、回覧板とかそういうのも確実に見ているという保証はないわけですよ。

ましてや広報を全世帯見ているかということ考えると、僕は広報で出すよりも、他の方法を考えたほうがいいんじゃないかと。私の家も、私が見るぐらいのもので、女房もどうだった？とかっていう状態ですので、事務局としては出したよ、となりますが、出せばそれで周知されるということは絶対ないですから。実際に事務局が出向いて色んなことをされるほうが、周知としては徹底される、という意見です。

●前田会長

ありがとうございます。

事務局は、今委員さんからそういう意見がございましたので、また色々考慮されたり、配慮されることをお願いします。

他に委員さん、ございませんか。

●加藤副会長

事務局だけじゃなくて、皆さんのほうでどうしたら良いかということなんですけど、今例えば清須市商工会のホームページを見ているんです

が、バスについて一切書いていない。清須市観光協会のホームページを見ても、リンクはありますが、清洲城にバスでどうやって行ったらいいかは一切書いていない。

改めて考えると、この清須の地域公共交通会議はそういう団体さんがここに入っていない。結構他のとこだと入っていることが多い。でもそうだと、そういうところでもうホームページに書いてないなんてありえないよみたいなプレッシャーを感じるわけです。清須はずっとそれがなかったの、住民代表の皆様にご意見をたくさんいただいてありがたいんですが、例えばある市だと、コミュニティバスについてのポスターが全部商工会の関連のところ配ってあって、店の中には全部貼っけというふうにしている。

こういうのは、企画政策課ですか。そういうところだととても手が回らないでしょ。だから市内のそういうあらゆる団体さんだとか、そういうグループだとかそういうものをどうやって、活用というと非常に失礼な言い方ですけど、そういうところと一緒にできるかっていうのは、もうちょっと何か考えたほうがいいのかなんて思います。

今もホームページを見ても、出てこない。「清洲城 バス」とやると、名古屋の市バスが出てくる。名古屋の市バスで一番近いのはどこかっていうと、中沼町。中沼町っていうところから、徒歩27分って書いてます。これが現状。こんなことでは、だめだと思います。

それはあしがるバスとかあしがるサイクルとか使わないのは、ぱっとこう見たときに、清洲城天守閣周辺に行こうと思うと、やっぱりちょっと難しい。

こういったネットとかそういうこともあるし、一方で、今言ったようなどこかにポスターを貼るとか、のぼりを立てるとか、色々やるとかで、そういうのはもっと市役所で色んな情報伝達のやり方みたいなのを考えたほうがいいんじゃないかなというの思います。

ちなみに防災無線使えるんでしたっけ。防災無線で何かするとか。

## ●事務局

今、そういった防災無線で行事ごと、こういった変更がございますよというようなことを流したことは私の記憶ではないですね。

行事ごとで今日何がありますよというのは、ございますけれども。こういう制度がいつ変わりますよというような周知のほうは、そちらでは無いですね。

## ●加藤副会長

まあ、あまり言うとうるさいんで、ほどほどでいいんですけど。何かそんなチャンネルもあったり、色んなものがあるんで、広報っていうのは、一番やっぱり訴求力が低いというか、本当は広報が高くないといけないんですが、決定的な訴求はないので。

広報か回覧板かって言ったら回覧板のほうが訴求力がありますね。何故かっていうと回覧は一枚一枚とっていくから。例えば広告かなんかはとっていく。とっていく人は欲しいからとっていく。広報だと、欲しいも欲しくないも関係なく配布しますので、なかなか見ない方もいますよ

ね。とるかどらないかっていう時に、とらない人もああ、あるねっていうのは見て、下手すると、どのくらい残ったかっていうので関心の高さが分かる。そういう話もあります。

そういったことも企画ではなかなか得意じゃないところじゃないかなという気がします。僕は一宮ですから、一宮だと地域ふれあい課だから、そういうののほうが得意というか、どうやって地域のみなさんに分かってもらおうとか、やっぱりそこが得意です。

半田とかだと、商工とかね。あ、ごめんなさい、半田は防災。防災だと、やっぱり防災は地域との繋がりが深いので、そういうこともできる。

松阪だと、商工ですから、そういった商工組織とか、商店街とかそういうところと色々ある。

企画だと一番弱い。実はそういうチャンスが少ない。そこは何かもうちょっと市役所内で図れないですか。普通にやらないのですか。そういうことって。

#### ●事務局

そうですね、庁内全域の中でのそういった情報共有というのは、そういう場というのはあるんですけども、そういった場を利用してでも、各課のほうで何かことがあればというようなお願い事項の中で周知も含めてやっていきたいなと思っております。

#### ●加藤副会長

もともと四町合併だったこともあって、それぞれのところで住民委員さんがやってこないといけないと思うんですけど、そこでかなり人が多かったんで、そういういわゆる団体さんは、あまり前に出なくて、住民の代表のみなさんが結構多くなるっていう構成だったというのはありましたけど、それはそれですごくいいことですが、やはり、宣伝とかになってくると、組織力も必要なので、委員としてどうかっていうのはまた別の問題として考えればいいんですが、そこは今、改めてこれを見たときに気をつけるところなのかなというのは思います。他のところだと、そこはやっぱりやっていますから。ここだと宣伝たくさんやってくれとかって。

あともう一点、資料の、店だとか病院だとかにもっとやっていただくということはないんですか。例えば、はるひ呼吸器病院とかどうなんですかね。特に名前をつけてるところは、本来だったらネーミングライツ料をもらってもいいくらいの話ですけど。他の自治体だとネーミングライツのお金をもらって宣伝とか色んなことをやっていたりすることもあります。

そういう特に名前がついているような停留所がある会社さんにはもうちょっと突っ込んでやってもいい。例えばヨシヅヤさんはチラシにバスで来てくれないかって書いてくれないかとかそういう話もあったりなんかしますから。そのへんの呼びかけとかも、そういうところとは定期的に話したりはしてないんですか。大口のところと。

#### ●事務局

例えばですけれども、今先生のお話に出ましたヨシヅヤですが、前回の会議のときに、ヨシヅヤでの乗換えで、乗り間違えを防ぐ方法を考えなくてはならない、という話がありました。

その関係もございまして、今、アポイントをとって接触を図ろうとしているところがございます。その中で、今いただいたようなお話もできればというふうに思っておりますので、現在、そういった状況でございます。

直近では、ヨシヅヤさんに連絡をとってそういったお話をできる機会を設けたいなというところがございます。以上です。

●加藤副会長

ちなみに、ヨシヅヤは清洲店は何も載っていません。はるひ呼吸器病院は、西春からのアクセスが先に書いてあって、しかも、きたバス中之郷保育園南下車徒歩10分。無料送迎車もある。西春から。あとは、JR枇杷島駅からきよすあしがるバスで約35分、はるひ呼吸器病院下車すぐ目の前。って書いてありますけど、35分。そりゃ35分かかるんでしょうけど。そういう感じですか。で、あしがるバスのホームページに行ける。そういう感じですが、まだこうやってやっていただいているだけでありがたいことなんです。

こういうのを一通り調べてみて、ここは忘れてるとか、場合によっては改正したのにそのまんまになってるというのもあり得るんで、こういうのも一通り見てどこがバスのことをちゃんと覚えててくれているとか、気にかけてもらっているとかかって、ちょっと弱いところは、営業をかけるとかそういうことをしたほうが良いと思います。

だから、自分達でやらなきゃいけないところはどこかというところ、そこが一番なんじゃないかなと思います。

●榊原委員代理

少し参考にしていただくといいな、ということで、津島市さんもコミュニティバスを実施されておまして、津島市のコミュニティバスもやはりヨシヅヤさんを中心として、ヨシヅヤさんをバスターミナルとして、駅であるとか、巡回をしております。

なので清須市さんも、津島市さんの事例を参考にしていただいて、多分ヨシヅヤさんもそれなりに話は聞いてくれるんじゃないかなというのが肌感覚では感じておりますので、少し参考にしていただければどうかなと思っております。以上です。

●前田会長

ありがとうございました。他に委員さんよろしいですか。

●加藤副会長

津島のそれは、もともと津島市役所がヨシヅヤなんていう、そういう私企業の名前を停留所につけちゃいけないというポリシーがあって、給食調理場前という停留所だったと。誰が給食調理場にバスで行きますかっていうことですから、その目の前がヨシヅヤなんでね。私のほうでそ

んなくならないことはやめろと、ヨシヅヤでいいじゃない、ということ  
でヨシヅヤに変えていただいたという経緯です。

清須の場合もヨシヅヤ拠点が多いので、置いていただいているだけで  
ありがたいですけど、もうちょっと何か、もう一工夫とかあるといいか  
なというふうに思いますので。

というのが、イオンモールさんだと、今日は一宮の会議で木曽川へ行  
きますけれども、木曽川のイオンっていうのはバスも実際お金を、あそ  
こは補助金を出して、走っている路線です。名鉄バスですけど。

それも含めて、県内にバス乗り場って他にあるところだと、周知して  
るだとか、時刻表がそこに設置してあるとか、色んなことをやっていた  
だいてます。やっぱりそういった施設のほうで気にかけていただくって  
いうのは本当にありがたいことなんで、一回そういう話をしていただい  
ければと思います。

●前田会長

ありがとうございます。委員さんよろしいですか。

●加藤委員

加藤榮子です。

たびたびこの会議でお話しするのですが、敬老の日にタダ券ですか、  
例えば10枚でも出せば、孫なりお友達なり。

今山田さんがおっしゃったように、広報では若い方しか見ないと思  
います。敬老の人たちにもあげる家もあるでしょうけど、ほとんどない  
と思います。ですから、敬老の日にそういうバスに乗れる券があれば、お  
友達、または家族、孫と行くと思います。

そういうふうに、この前出席したときに思ったのですが。たくさん  
の方が、色々な方がその敬老の日には会場に来ていらっしゃいました。  
ですから、そういうところで、バスのことを何か一つでもいいから宣伝した  
ほうがいいんじゃないかと私は思います。

●前田会長

ありがとうございます。

●加藤副会長

それって加藤さん、やりませんか。他のところだとそういうの結構あ  
りますよ。委員の皆さんで、それぞれ会合とかそういうところでも説明  
をして、乗ってくださいっていう。もちろん職員の方も来てもらっても  
いいですけど、どっちがとっつきやすいかっていうと、近い方のほうが  
いいので、そういうのもあり得ます。

十分、弁が立つから大丈夫だと思いますけど。どうですか。

●前田会長

先生のご指導で、よろしく願いいたします。

他に委員さん、何かございませんか。

●林委員

林です。今先生のほうからございました、商工会のホームページですか、そのサクラルートなどのあしがるバスの、どう行ったらいいかというような。私も今一応は商工会の役員になっていきますので、話は前々から事務局長それから会長なりと話しているんですけど、なかなかそれ以上の先が動きが悪いので、また近いうちに、しっかりとしていきたいので、事務局とも今後の話をしまして、市役所さんにその経過もお話させていただいて、できたらと思います。

商工会のホームページも時々直してはやってますので、多分、話をすればいけるんじゃないかなと僕は思ってますけど。他の意味でルートのことでは話していたんですけど、今のホームページの中へ載せたりということは気がつかなかったんで、近々中にまた商工会の会長なりに話させていただきます。また、その経過連絡しますのでお願いします。

●加藤副会長

ホームページは鉄道の時刻表ですか。僕はそれもさることながら、ポスターも、店舗とか店の人に協力して欲しいです。

●前田会長

よろしくお願いします。他に委員さん、よろしいですか。  
他にご質問ございませんでしたら、ここでお諮りいたします。

●事務局

すみません。今資料の6、協議事項の(2)と(3)の承認のお話しだと思えますけれども、そのところで追記をさせていただきたいと思えます。

資料6をご覧になっていただきまして、資料6の改正案のところの30年度でブルールートが7.1というふうに記入してあると思えます。こちらのほうにつきましては、30年度はご存知のように半年です。31年度は一年、通年ということで、このところですけども、計算間違いがあった、ということが今判明しました。

ですので、ルート自体は変更ございませんので、30年度の1便あたりと31年度の1便あたりっていうのはこんなに大きく差があるわけではないですので、再計算のほうさせていただきたいと思えます。

そちらのほうの再計算をさせていただきますと、おそらく今ざっと見ると3の後半から4という数字になると思えますけれども、そういった数字になるということをご理解いただいたうえで、新しい数字が決まりましたら各委員さんのところに正誤表を発送させていただきます。

ということで、そういった前提でご承認をいただければというふうに思いますのでよろしくお願いします。

●二輪委員

グリーンルートも数字が減っているんですが、これは何か理由があるんでしょうか。

●事務局

はい、ご指摘のグリーンルートにつきましては、オレンジルートとの需要の兼ね合いを見ております。その結果、ある程度グリーンからオレンジに需要が移行するということが見込まれますので、そのようなことも反映して、この数字になってございます。

●前田会長

よろしいですか。ありがとうございます。他によろしいですか。

今、事務局からあしがるバスの利用者について、1年あたりの平成30年度、31年度の修正があるということの後日申し上げるという中で、今回この事務局案にご承認いただくということで、よろしいですか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

今(3)の平成31年度生活交通確保維持改善計画(案)については、今後これに関しまして、関係機関へ提出し、承認をいただくという対応手続きがあるということでございますので、よろしくお願いします。

それでは、これで、協議事項、議題(2)と(3)を終わります。

●加藤副会長

今網形成計画を見てるんですけど、ルートとかダイヤが書いてあるところがありますが、ここは差し替えはしないですか。

●事務局

そこのところは今のところ変更する予定はございません。

●加藤副会長

何か目標が差し替わってこっちが差し替わらないのは。

●事務局

補助金の申請で使うところが、先ほど維持改善計画というのが基本的に網計画を踏襲するということになっていきますので、その関係上網計画の必要最低限の改正に留めているというのが、今のところの考え方です。

●加藤副会長

例えば今、ルートが113ページに3ルート書いてあるわけです。オレンジルート、グリーンルート、サクラルートで平成26年3月時点と。

今、その前のところで、目標で4ルート出てくると、この中で既に矛盾が生じてしまっています。

●事務局

そうですね、中のほうよく見させていただきますと、今回の大幅なル

ートダイヤ改正ということで、細かい点もかなり影響が出てくるということとは理解しております。

次回の改正のときにそっくりということを考えておりましたけれども、今加藤先生のそういったご指摘の中で、一度今回こんなに大幅に変わるんだったら一斉に見直すのも手だよということであれば。

●加藤副会長

一つ言えるのは、網形成計画なので、どういう網を作ろうとしているのかが書いていないといけないんですけど、それが、もう過去のことしか書いていない計画になっているのに、実際には違う新しいルートになっていて、目標がそれになっているっていうと、計画って読んでも何か、一番知りたいルートは古いのしかなく、目標だけ新しいのに変えても、これだけ読むと全然分からないってなっちゃうかなと思います。

僕が思ってるのは、最低限、実状として変わったところだけを変えたほうがいいのかないかなというだけで、そんなに大きく変えるってのはすべきじゃないことなので。ただ他のところだと、やっていますね。

やはりルートが大きく変わるようなものだと、差し替えないと事務局として手を出せないんで、そうじゃなければ、ここの分だけ差し替え用紙みたいな形でやるほうが、ルートが変わったので、計画は変わらないけどこの目標だけ変えますっていう改訂版というか差し替えのシートみたいなので入れるほうがいいのかないかなという気はします。

そのへんは、扱いはどちらでもいいですけど、通常は整合がとれないと、改正と言っても、何か一部のところだけ改正して辻褄が合わないということになります。

●事務局

そうしましたら一度中身精査させていただきまして、大幅に今回3から4に変わりましたので、そういったところまた、先生のほうにご相談にあがりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

●前田会長

では、続きまして、(4)平成30年度清須市地域公共交通会議スケジュール(案)についてを議題といたします。

事務局のほうから説明をお願いします。

[協議事項(4)について事務局から説明]

●前田会長

ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明がございました。

この協議事項について、委員さんから何かご意見・ご質問等ありましたら、お願ひいたします。

[特になし]

よろしいですか。他にご質問ないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関しまして、事務局案でご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（４）を終わりたいと思います。

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

長時間にわたり、各委員さんには慎重にご審議いただきまして、大変ありがとうございます。

次に、次第３のその他につきまして、事務局から報告事項がありましたら、お願いいたします。

#### ●事務局

本日は長時間に渡りましてご協議いただきありがとうございました。

事務局からご報告とご案内をさせていただきます。

先ほどの資料６の間違いにつきましては、また正誤表を作って送らせていただきますので、よろしくお願いいたします。申し訳ございませんでした。

続きまして、本日の協議事項（３）でご承認をいただきました生活交通確保維持改善計画につきましては、いただいたご指摘等ふまえて、国土交通省へ提出をさせていただきます。

続いて、協議事項（４）で少し触れさせていただいたものですが、ルート・ダイヤ改正の周知についてのアンケートをお願いしたく存じます。

先ほどお手元にお配りさせていただきましたルート・ダイヤ改正の周知についてという資料をご覧いただいたうえで、つけさせていただきました意見シートにご意見を記入していただき、FAX・郵送・メールなどによりまして５月３１日（木）までに事務局へご提出いただきますようお願い申し上げます。

また、こちらの様式のデータを希望される方におかれましては、この後事務局までお申し出いただきましたらご指定のメールアドレスまでデータを送らせていただきます。

それから、資料８のスケジュールのところでもお示しをさせていただきましたが、ルート・ダイヤ改正の周知につきまして、市民委員の方々にお集まりいただきご協議していただく場として、専門部会を開催させていただきたいと考えております。

市民委員の方々には、今お手元に開催通知を配付させていただきましたが、ご出席の程よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

#### ●前田会長

ありがとうございました。

ただいま事務局から議事以外の報告事項や本日の議事のまとめをし

ていただきました。

最後に各委員さんで何かございましたらお願いいたします。

●大島委員

つばめ自動車の大島です。なかなかダイヤのほうで細かい数字を確認しきれていなかったのも申し訳なかったんですけども、グリーンルートで、1便目の横町公園へ入っていくところなんですけども、時間指定で9時まで車両進入禁止になっているところなんですけども、ここはどのように対処されるご予定ですか。

●事務局

すみません、今お話をいただくまではそこについてはそのような規制があるということは認識しておりませんでした。

●大島委員

すみません。私も細かいところまで見ていなかったのも申し訳なかったんですけども。堤防から横町公園に向かっていく細いところが9時まで進入禁止になっていますので、ここを例えば申請して路線バスは通れるように許可をいただくのか、とか。

●事務局

この場でどのような対応をさせていただくのかまでは申し上げられないところではございますが、ここの部分につきましては、規制の内容ですとか、その内容については警察さんのほうも関係してくると思いますので、先ほど申し上げた正誤表の中に、対応をそれまでに盛り込ませて送らせていただくという形をお願いできないでしょうか。

●大島委員

了解いたしました。

●前田会長

ありがとうございました。

●二輪委員

今日は、資料というかパンフレットで、このように「活発で良い議論ができる会議のために」というものをお配りさせていただきました。

こちらのほう、一昨年全員にお配りさせていただいているので、それ以降にお代わりになった委員以外は一回は目にされたことがあると思いますが、今この場で中身を大まかに説明することはしないんですけども、一番重要なのが真ん中の右側、こちらに各委員さんがどういう立場でどういうことをその会議の場で発言していくことを求められているかということ、私の中部運輸局のほうでまとめさせていただいたものになりますので、各委員さんそれぞれ立場がありますので、それぞれの立場の意見を代表する方となっておりますので、そこらへんを念頭に置いて発言していただくと共に、日ごろの生活の中でこういう意見を集めてき

ていただけると、より良い公共交通になるのではないかなと思いますので、是非お帰りになって中身をご覧いただいて参考にさせていただくようによろしくお願いします。

●前田会長

ありがとうございました。

他に委員さん、よろしいですか。

では、これをもちまして、平成30年度第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。皆さん、ありがとうございます。

今後ともよろしく願いいたします。

4 閉会（午前11時45分）

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3250
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 谷野 嘉一

署名委員 林 巖